

製品名: U1-C ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87669**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:17 kDa; Observed MW:21 kDa

抗原情報

遺伝子名	U1-C
別名	U1C; Yhc1
遺伝子 ID	6631
SwissProt ID	P09234
免疫原	ヒト U1-C の合成ペプチド

背景

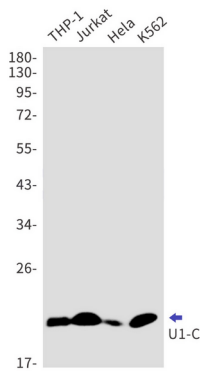
この遺伝子は、スプライソソームの形成に必要な U1 核小体リボ核タンパク質 (snRNP) 粒子の特定のタンパク質成分の一つをコード

しています。コードされているタンパク質は、核前駆メッセンジャー RNA のスプライシング過程に関与しています。snRNP 粒子は、結合組織疾患患者で高頻度に産生される自己抗体によって攻撃されます。ゲノムには、この機能遺伝子の複数の偽遺伝子が含まれています。選択的スプライシングにより、非コード転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2009年10月]

研究分野

-

画像データ



U1-C 抗体 (1:1000 希釈) を使用した THP-1、Jurkat、HeLa、K562 細胞溶解物中の U1-C のウエスタンブロット検出。